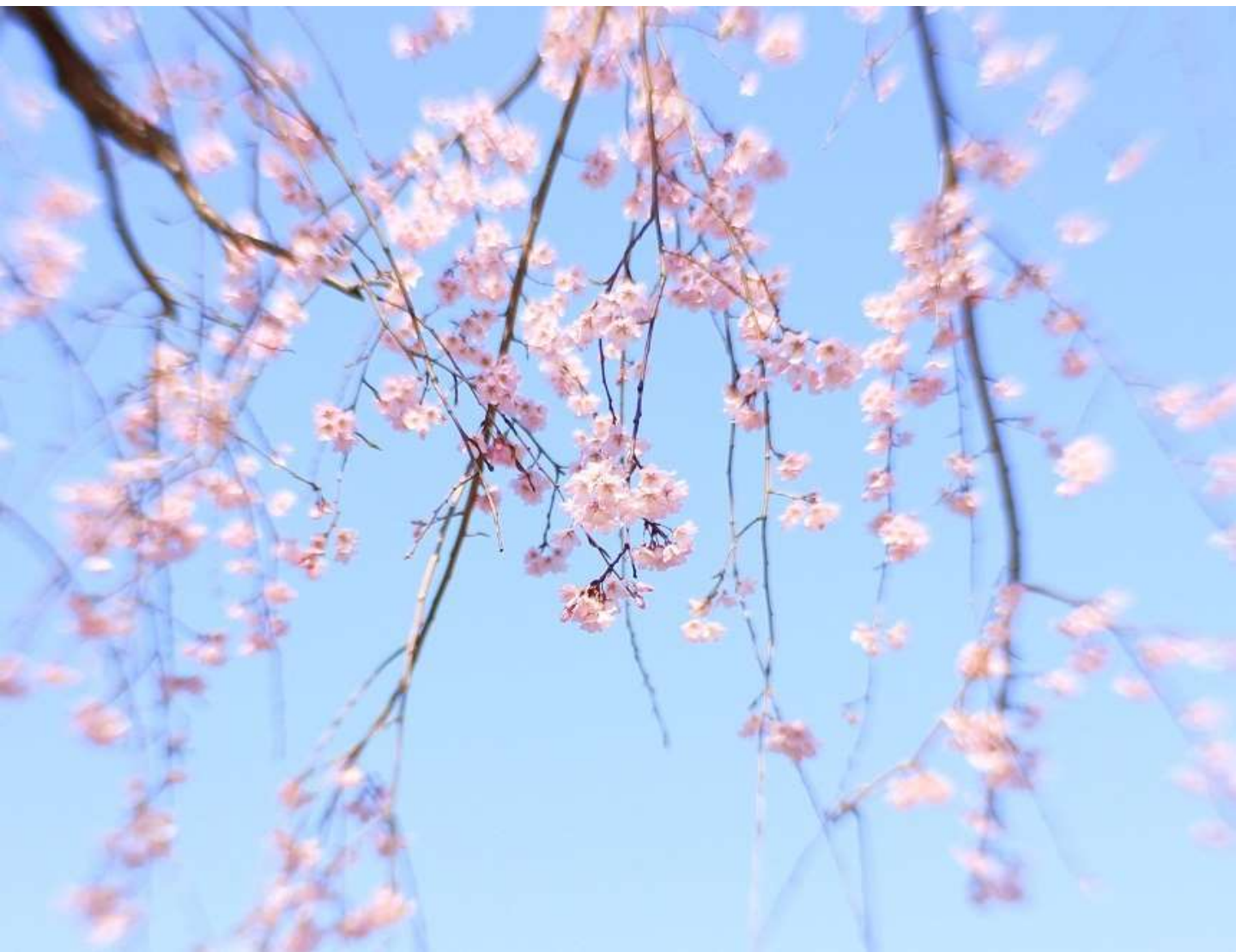


家畜衛生情報誌

『 一 支 国 』

2014. 春号



壱岐振興局農林水産部 壱岐家畜保健衛生所

〒811-5734 長崎県壱岐市芦辺町国分本村触1385-1 TEL : (0920)45-3031

E-mail : s13230@pref.nagasaki.lg.jp

FAX : (0920)45-3386

~Website~

<http://www.n-nourin.jp/ah/agrilink/hukyuu/iki/kakuka/3eiseika.html>



# 平成25年 精液利用ベスト10

吉岐地区での総利用本数は9,600本（対前年124本減）、うち県有牛は5,741本（59.8% 前年比-1.9%）でした。また、「金太郎3」が初年度から3位になりました。

No.	種雄牛	所有者	利用本数	シェア (%)	前年
1	平茂晴	長崎県	3,039	31.7	→ (1位)
2	隆之国	鹿児島県 羽子田	798	8.3	↑ (7位)
3	金太郎3	長崎県	755	7.9	初
4	安福久	鹿児島県 徳重	722	7.5	↑ (4位)
5	勝乃勝	長崎県	687	7.2	↓ (2位)
6	百合茂	鹿児島県 徳重	651	6.8	↓ (3位)
7	光平照	家畜改良事業団	511	5.3	↑ (11位)
8	安茂晴	長崎県	446	4.6	↑ (6位)
9	糸晴茂	長崎県	377	3.9	↓ (5位)
10	美国桜	鹿児島県 徳重	356	3.7	↓ (9位)

※集計期間：平成25年1月1日～12月31日

## 平成25年度 BSE 検査成績

家畜の死体は産業廃棄物であり、自己の土地であっても、その死体を埋却することは違法です。加えて、平成15年4月から、24か月齢以上の死亡牛は牛海綿状脳症（BSE）の検査が義務付けられています。

過去には、県内においても、不法焼埋却などでBSE検査を受けなかった事例がありました。そのような事がないように注意をお願いします。

下表は、吉岐における死亡牛のBSE検査頭数（過去3年分）です。平成25年度は、92頭の死亡牛のBSE検査を実施し、全頭陰性でした。

(単位：頭)

年度 \ 月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
H25	9	10	8	10	11	7	7	0	8	7	6	9	92
H24	4	10	10	11	9	5	8	5	9	10	11	7	99
H23	10	4	10	13	9	8	11	12	14	12	8	10	121

# 冬季講習会が開催されました ～初乳の効果について説明～

和牛部会等が主催する肉用牛冬季講習会が、2月19日の鯨伏・勝本地区を皮切りに3月4日まで管内9会場で開催され、総計約350名の農家の参加を得ることができました。講習会では、農協畜産部、家畜保健衛生所、振興局地域普及課、市役所が講習や連絡説明を行い、家保からは飼養衛生管理基準の重点事項である「早期発見通報、口蹄疫感染の危険性の高い物品への注意事項、記帳の重要性」と子牛損耗防止のための「初乳給与の重要性」について説明を行いました。



質問では「母牛初乳と凍結初乳、市販粉末初乳の関係について」があがり「主体は母乳、購入初乳は補助的に。またワクチン等の活用も有効」と説明しました。スライドを用いできるだけわかりやすい説明に心がけましたが、短時間のため十分であったかは不安が残るところです。今後もこのような講習の機会を作っていきたいと思えます。

## 『北福平』爆誕！！

「北福平」号（平成21年1月10日生、吉岐産）の現場後代検定が終了しました。成績は下表のとおり、枝肉重量493kg、BMS No.8.1、ロース芯面積63cmと各項目について県平均を大きく上回りました。さらに、枝肉品質の最高ランクである5等級率は県産種雄牛歴代最高の71%と驚異的な数値となっており、「長崎和牛」の品質向上に大きく貢献することが期待されます。



<現場後代検定成績（去勢17頭）>

区分	枝肉重量	ロース芯	バラ厚	皮下厚	BMS No.	上物率	5等級率
北福平	493kg	63m <sup>2</sup>	8.5cm	3.1cm	8.1	94%	71%
県平均	490kg	55m <sup>2</sup>	7.9cm	2.6cm	5.9	68%	19%

※県平均：平成24年次長崎県産種雄牛産子の肥育成績平均値（肉用牛改良センター集計）

# 「安平栄」産子現地検討会開催

## ～宮城全共に向けて～

全国和牛登録協会吉岐支所は1月15日、吉岐家畜市場において「安平栄」産子現地検討会を開催しました。「安平栄」は但馬系の種雄牛でありながら、現場後代検定では枝肉重量も大きな種雄牛で宮城全国和牛能力共進会用の基幹種雄牛候補です。検討会には産子10頭が題材として集められ、登録協会の向井会長はじめ関係4名の審査員により評価が行われました。産子の発育は標準以上であり、改良点としては前軀幅、特に肩の付着・移行、骨あじがあげられた反面、資質や後軀のばらつきが見られました。気高系の繁殖牛が多い吉岐地域においては後継牛生産のために活用が期待できる種雄牛と評価されました。

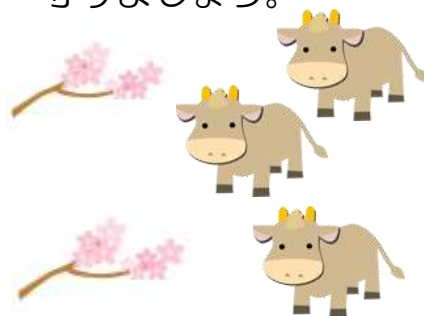
## 牛異常産ワクチンはお済みですか？

牛のウイルス性異常産（アカバネ病、アイノウイルス感染症など）の多くは、蚊やヌカカなどの吸血昆虫によって媒介されます。吸血昆虫の活動は、春先から徐々に活発になることから、ウイルス性異常産を予防するためには、4～5月頃までに牛異常産ワクチンの接種を済ませておくことが重要です。特に、アカバネウイルスについては、近年、ほぼ毎年のように流行しており、昨年は九州各県で本ウイルスの感染による起立不能や異常産症例が複数確認されています。

### <H25年度アカバネ病発生状況>

発症(分娩) 月日	県	感染時期	症状	月齢
9. 8	鹿児島	生後	起立不能	10.9
9.15	鹿児島	生後	起立不能	10.3
9.23	鹿児島	生後	斜頸、起立困難	2.3
10.15	福岡	生後	起立不能	8
10.18	宮崎	生後	起立困難	6
10.21	宮崎	生後	起立不能	2
10.25	鹿児島	生後	起立困難	7.7
12.18	熊本	胎子	体型異常、矮小筋	0

農場内にワクチン接種の対象となる牛が残っていないか、今一度確認し、大切な牛をウイルス性異常産による被害から守りましょう。



# 平成26年度 組織図



松本輝久

(吉岐振興局副部長、所長)

衛生班



森田光太郎

(係長)



酒井芳子

(主任技師)



藤原章生

(課長)

転入



長戸洋子

(嘱託)



伊勢喬太

(獣医師)



中野孝弘

(獣医師)

新規採用

<衛生課>

## よろしくお願いします

離島勤務は4回目ですが、吉岐家保勤務は初めてです。着任したばかりですが、生産者の皆様や関係機関・団体の方々の畜産に対する情熱を強く感じています。吉岐の畜産振興に少しでも貢献できるよう、精一杯頑張ります。

よろしくお願いします。(藤原)

吉岐家畜保健衛生所に配属となりました中野です。3月に大学を卒業し、長崎県を初めて訪れ、そして離島勤務となりました。わからないことばかりですが、吉岐を愛し、また先輩方からご指導を賜り、技術や知識を磨いて農家の皆様のお役に立てるよう努めたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。(中野)

～お世話になりました～

橋本哲二(衛生課長)

→県南家保衛生課長へ異動

つぶやき

長く寒い時期も終わり、ようやく心はずむ春になりました。島内では綺麗な花が咲きほこり心癒されます。その綺麗な花々も手入れをされる方のおかげと考え、頭の下がる思いです。(い)